



郡山市日和田 西方寺の几号

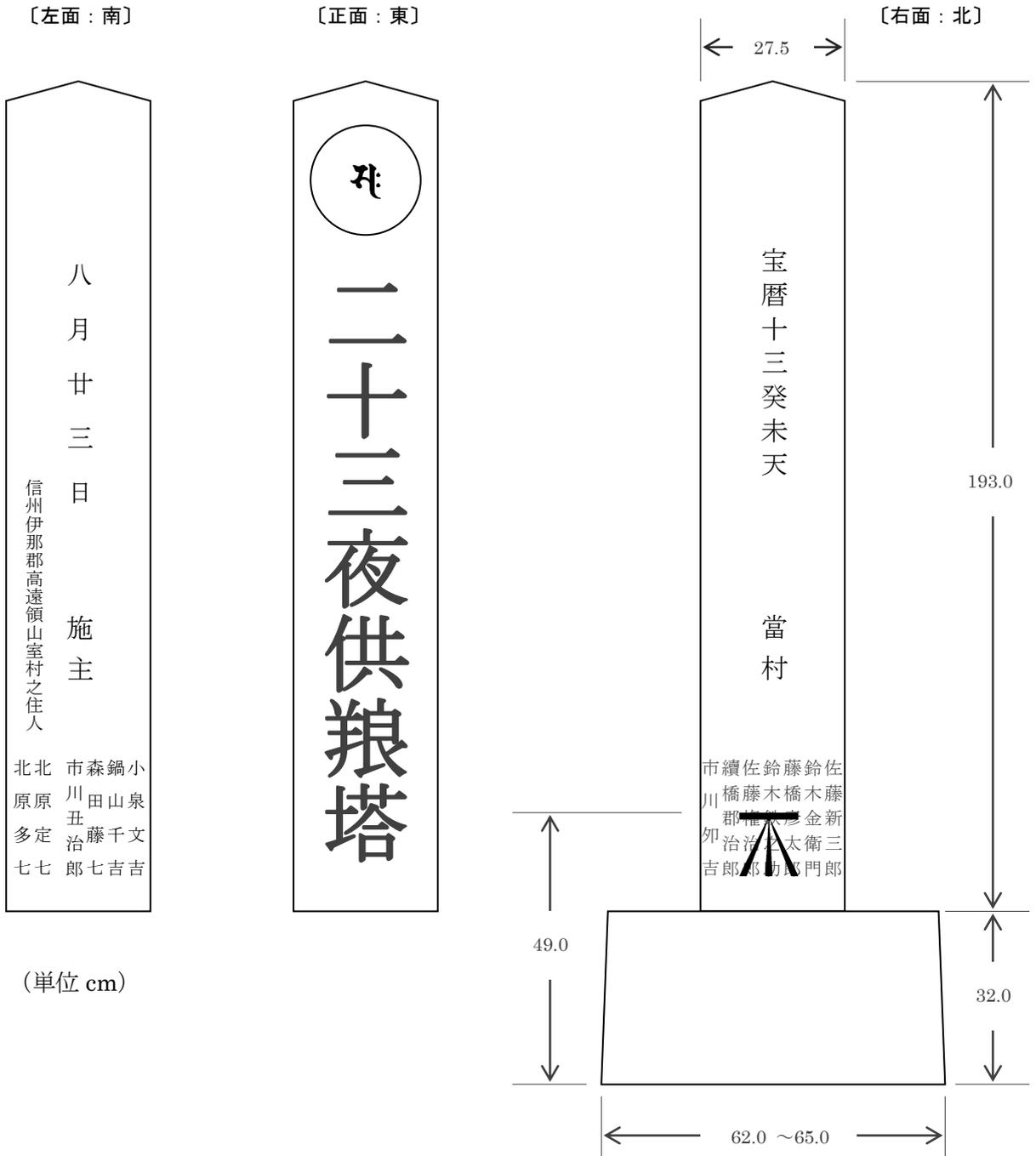
郡山市日和田の蛇骨地藏堂境内にある「四神碑（荒井貞立顕彰碑）」に几号が刻まれていることは周知のとおりですが、そこから陸羽街道を北へ200m行った西方寺境内の二十三夜供養塔にも几号が刻まれていることが須賀川市在住 松宮輝明氏らの調査で明らかになりました。

現時点ではどちらが陸羽街道高低測量に際し刻まれた几号か判断できませんが、几号附刻の用途を明らかにするためにも、双方の石碑建立以来の変遷をたどることが急務といえます。

〔写真上〕 供養塔寄進者名の上に刻んだ几号

〔写真右〕 供養塔の正面。几号は壁に面した右面に附刻





◎ 几号標データ

所在地：福島県郡山市日和田町字日和田 138
西方寺

附刻物：二十三夜供養塔

〔宝暦 13 年(1763) 建立〕

附刻者：不明

附刻年：不明

調査日：平成 20 年(2008) 6 月 10 日

